



まちが覆われる時

ー生態系との共存による都市の野生化計画ー

人間中心に構築される世界。現在まで人間の生活に必要なものはすべて淘汰し、暮らしの効率化を図ってきた。

そこで、都市の中での人間も含めた生態系の在り方を考え、本提案では、制御不能な自然に対峙することで人間の創造力や身体性を刺激する暮らしを提案する。

今回の計画敷地は大分市府内。飲食店を中心に栄える商業地域である。この場所において、生態系と共存するための三つのプログラムを挿入する。①都市ごみをたい肥化させてランドス



菅大輝さん

ケープに還元する②グレーチングの足場によるライフスタイルや植物の成長、侵食に合わせる暮らし③生態系の活動を拡大する装置の設計をする一の三つだ。

計画敷地のビルをすべてスケルトンインフィルにし、この三つのプログラムをその中に挿入していく。こうして、まちが自然に覆われるとき、自然と都市がせめぎ合う中で、生命力の溢れる生活が始まる。